展勝地

和やかに市民観桜会

あいにくの雨、古民家で

北上市の北上展勝地さくらまつり「市民観桜会」は18日、同市立花のみちのく民俗村で開かれた。桜は満開で見頃を迎えていたものの、時折小雨がちらつくあいにくの天候のため、屋外での予定を旧小野寺家住宅に変更して実施。参加者が古民家から見える桜を楽しみながら和やかに歓談した。

市民を中心に約120人が参加。主催者の八重樫守民北上観光コンベンション協会長が「屋内での開催となったが、建物の中から、ちらりと見える桜も一興。桜を楽しみながら普段からの交流をさらに深めていただきたい」とあいさつした。

高橋敏彦市長のほか、近隣から細井洋行西和賀町長、高橋由一金ケ崎町長らも参加して祝辞を述べ、高橋穏至市議会議長の音頭で乾杯。さくらまつりの開幕に合わせて発売された地ビール「展勝地さくらエール」や、地元の立花展勝地小唄踊りの会による「展勝地小唄」のアトラクションを楽しみながら親睦を深めた。

会場では、熊本地震の被災地へ義援金を届けようと、参加者に寄付金を募った。

あいにくの天候で古民家内で開かれた北上市民観桜会